

被害者がだまされる背景

なぜだまされてしまうのだろうか


だまされるとは

自分は何からも
影響されず、自分
の意思で物事を
判断している

判断や気持ちを
動かされる

判断力に影響を与える
要因は何か

だまされる原因・背景



人の一般的な反応を悪用

- 
- 日常性(正常性)バイアス

- 
- 組織的な犯行

人の一般的な反応を悪用

- 不意な状況、仕掛けや演出
 - 用心させない、冷静に考えさせない

例

- 機会の制限、急かす、焦らせる
- 権威や肩書きを利用して信用させる
- (誰しもが持っている)金銭欲をくすぐる

不意の状況には対応できない

通常、種々のアクシデントを
想定し、備えている

しかし、だまそうとする人との
接触経験は少ない



だまそうとする相手へ
の対応は備えていない

ひとは状況の影響を受ける


不安感を高める、対応を急かす



切迫感、機会制限

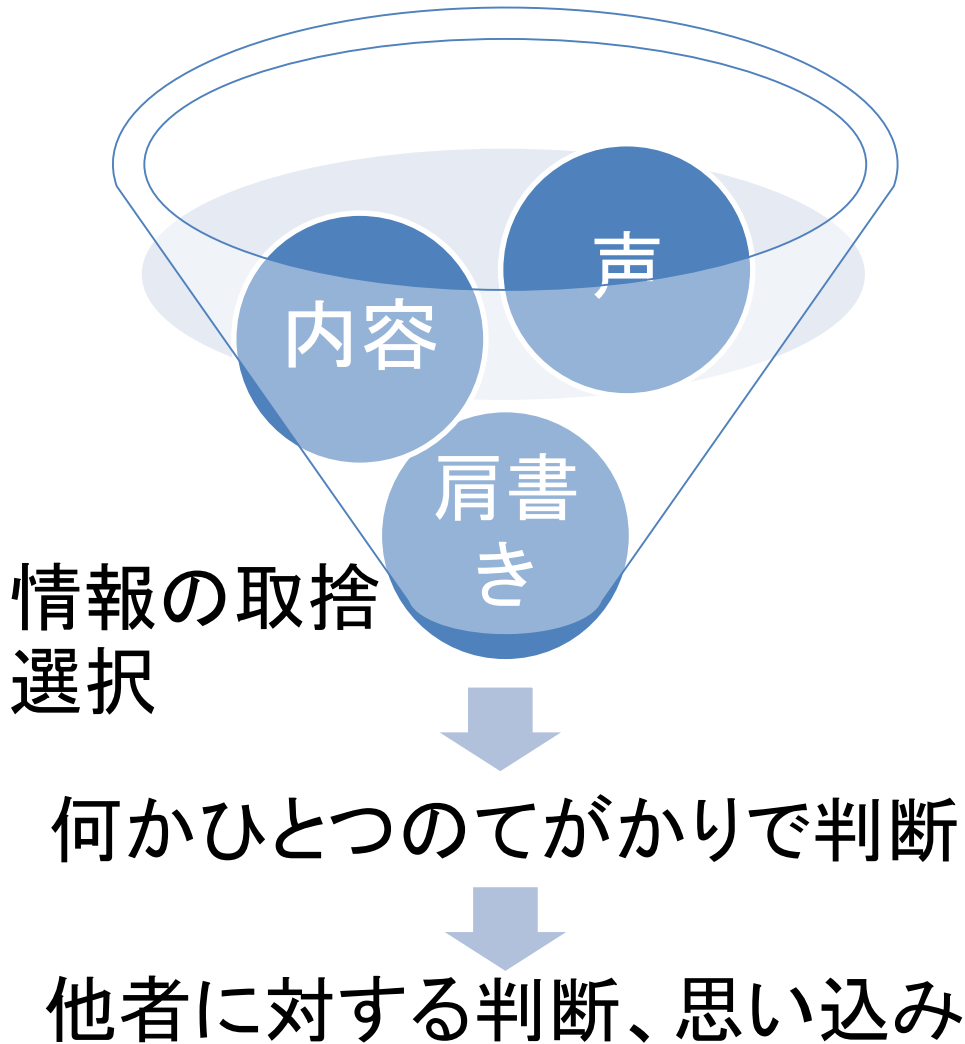


何かを失うかもしれないという脅威・自由を失う不安



冷静さを欠く状況、合理的な判断ができない

ひとは多すぎる情報を処理できない




肩書き → 権威 → 信頼、
信用 → 服従

- 権威の持つ影響力
- 全体としてとらえるのではなく、一部分だけに注目してしまう
- 何かをよく知っている「権威者」になる

「権威者」の指示に従う

日常性バイアス

だまされるという非日常的なことが起きているとは思いたくない気持ちがある



心を平静に
保とうとする

途中で何回か怪しいサインがあるにも関わらず、最後まで誘導されてしまう

信じようとする意識を持ってしまう

日常性(正常性)バイアスの影響

だまされるという非日常的なことが起きているとは思いたくない気持ちがある




嘘であることを否定するような僅かな情報をあてにしてしまう



- 「本当の話でなければこんな情報を知っているはずはない」
- 「だまそうとしている人が、こんなに丁寧な言葉遣いであるはずはない」
- 「自分の知っている詐欺の手口とはこの点が違う」

日常性バイアス

だまされるという非日常的なことが起きているとは思いたくない気持ちがある




心を平静に
保とうとする

途中で何回か怪しいサインがあるにも関わらず、最後まで誘導されてしまう

信じようとする意識を持ってしまう

だまされる原因・背景



人の一般的な反応を悪用

- 
- 日常性(正常性)バイアス

- 
- 組織的な犯行